

R H R

リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツって何？

リプロダクティブヘルス・アンド・ライツ(以下RHR)という言葉を知ったことはありますか？ RHRとは、男女共同参画社会の実現に向けて女性特有の健康上の問題を解決し、ライフプランを自ら選択していくために、男女がかかわらず知っておきたい大切な考え方です。インターンシップのためバリエアで研修中の大学生の皆さんが、産婦人科医の田畑愛先生に話をお聞きするとともに、意見を交換しました。

妊娠は男女の問題 男性にも性教育を

「RHRについて教えてください。」

田畑 約30年前にエジプトのカイロで開かれた国際人口開発会議で「教育と健康になるための手段を提供すること」「ジェンダー平等の実現による女性のエンパワーメント」に世界が合意し、定義された言葉です。「リプロダクティブ・ヘルス」とは性や妊娠・出産に関わる全てにおいて身体的・精神的・社会的に良好な状態であること、「リプロダクティブ・ライツ」は、産む・産まない、いつ・何人子どもを持つかなどを自分で決める権利と、そのために必要な情報やサービスを得られること。つまり性や体のことを自分で決め、守ることができる権利のことを言います。

「皆さんは、RHRが自分に関係があると思いますか？」

高橋 まだまだ自分事としては捉えられないと思いました。私が将来結婚して子どもができて…ということは、現状では想像が付きません。しかし、自分のように男性の当事者意識が低いことが課題なんだろうなと思います。

田畑 良い視点ですね。熊本の妊娠中絶率は、厚生労働省のデータによると、全国の中でも高い状況が続いています。

「今日の気づきを教えてください。」

平田 性に関してはタブー視されがちですが、自分の世代から変えていきたいと思いました。まずは身近な人に学んだ知識を伝えることから始めたいと思います。

高橋 周囲にある性の情報に流されず、おかしいと思うことは敏感になつて、誰かに伝えたり、自分で調べてみたりすることが大事と学びました。

山本 女性が妊娠中絶の相談で受診する場合、男性が来ないケースがほとんどという話を聞いて正直ひどいなと思いました。大切な人が悩んだ

フォーシーズンズレディースクリニック
院長 田畑愛さん
日本産婦人科学会認定産婦人科専門医。日本産婦人科学会女性のヘルスケアアドバイザー。市内中学校へ性教育の指導を行っている。2男2女の母。



「RHRとは？」
「RHRとは？」
「子どもたちの未来のために大切なこと」

「性に関する困ったとき、誰に相談しますか？」

平田 やっぱり身近な人には相談しにくい。ネットに頼ると思います。

田畑 ネット情報は、出典を確かめることが重要です。医者が解説している情報などは参考にできると思います。

タブー視されがちな性 その意識を変えていきたい

「先生へ聞きたいことはありますか。」

平田 生理で悩んでいる異性がいる場合、どう接すればいいですか。

田畑 「大丈夫？」と声を掛けるなど、自分ができることを考えて行動する

ときに一緒に考えられるように、学んだことを伝えていきたいです。

山下 ピルについてなど、自分にとってプラスになる情報を知りませんでした。そういったことを同世代にも広げていきたいと感じました。

田畑 生理のこと一つにしても私たちが学生のころと今では考え方、対処の仕方も変わってきています。皆さんの世代でもおかしいと思うことは、周りの人に話を聞いて、変えていって良いと思います。考え方を常にアップデートしていくことが、さまざまな人の生きやすさや働きやすさにつながっていくはずですよ。

程度で構わないと思います。生理痛がひどく、日常生活に支障が出ているようであれば、治療薬もあるので「病院で相談したら」と伝えてほしいです。

高橋 子どものころからの性教育が大事と聞きますが、幼い子に性的話をするのは早過ぎませんか？

田畑 早過ぎることはないと思います。日本では今、小学校の性教育の新しいカリキュラムを作っているところですよ。基本は自分の体を大切にすることを伝えることで、まさにRHRの考え方です。子どもを授かるまでの過程だけでなく、プライベートゾーンの大切さなど、成長段階



中学生向けに 性教育講話を実施

田畑先生は熊本市教育委員会から依頼を受け、熊本市内の中学校で性教育に関する出張講話を行っています。内容は、思春期の体の変化や月経の仕組み、子どもができる過程、妊娠、出産などの基本的な性に関する知識のほか、避妊しないことと起こる可能性のある「望まない妊娠」や「性感染症」についても触れています。「男性も当事者意識を持てるよう意識して、正しい性の知識を伝えていきます」と田畑先生。アンケートでは男子だから、女子だからではなく理解し合うことが大切なのだと感じた。「とても大切でみんなが知らなければいけないことなのに、教育の場が少ないと感じた。男女ともに責任があることを忘れないようにしたい」といった声が寄せられています。

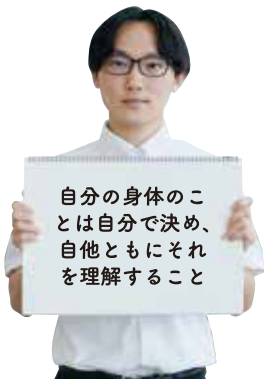
「10年後には、このような講話をしないで済む社会になっていることが目標です」と話していました。



「性の問題を身近なことと捉えてほしい」とスライドを使って分かりやすく説明する田畑先生

参加したのは… 熊本学園大学 経済学部(3年生)の皆さん

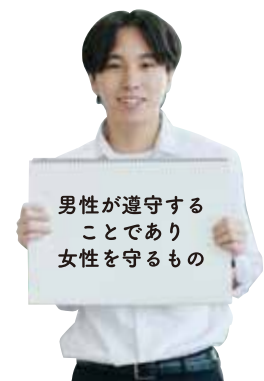
あなたにとってRHRとは？



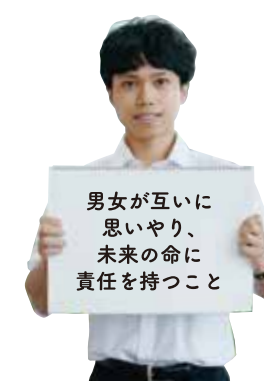
平田 裕磨さん



山下 さくらさん



山本 琉さん



高橋 功賢さん

※1 ジェンダー・ギャップ指数…世界経済フォーラムが、「経済」「教育」「保健」「政治」の4分野14項目で男女比などのデータを用いて男女格差を数値化したもの。2023年、日本は世界146カ国中125位と最下位に近く、男女差が大きいという結果になっています。